

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年8月13日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172900516		
法人名	社会福祉法人 群生会		
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	北海道旭川市錦町18丁目2150番地 (電話) 0166-59-5775		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年7月29日	評価確定日	平成21年8月13日

## 【情報提供票より】(平成21年6月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)11年11月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	9人, 非常勤 人, 常勤換算 7.5人

### (2) 建物概要

建物構造	モルタル	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000円	その他の経費(月額)	10,500~18,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

### (4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1		要介護2	2名		
要介護3	6名	要介護4	1名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85.9歳	最低	84歳	最高	91歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	むらい内科クリニック
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ヘルパー実習、実践者研修の受け入れでホームの持つ機能の地域への還元や管理者は、グループホーム協議会の講師やキャラバンメイトでの講師を務めて認知症への理解・広報に積極的に取り組んでいる1ユニットのグループホームです。ホーム内では、利用者が気になる視線や圧迫感などを遮る工夫がされていたり、手作りのウッドデッキが設置され気分転換のための利用や日光浴、談笑など本人が自由に過ごせる場が設けられています。また、本人の思いや意思を尊重して玄関の出入りを自由にして開放し、戸外にいつでも出かけられるように見守っていたり、りんご狩りや花見、音楽療法や体操など日常的な外出の機会の支援を多く取り入れています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、認知症の広報について課題が挙げられていましたが、管理者はキャラバンメイトの養成の講師を努めて認知症の理解の浸透に取り組み利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるように広報活動しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は、評価の意義を理解し、定期的に評価を実施する中でそれらを活かして具体的な改善に取り組んでいます。また、自己評価及び外部評価の結果については家族会や運営推進会議で報告されていると共に個々の家族に郵送されて情報の公開にも取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、定期的に開催され主な議題については 介護報酬改定について 消防法改定(スプリンクラー設置)について 介護認定基準改定について 自己評価及び外部評価の実施について 職員の異動及び退職について など
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族会や運営推進会議の開催で、意見や苦情など言い表す機会を設けてそこでの意見を運営に反映される取り組みが行われています。また、定期的に「ひまわり通信」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりなど家族に情報提供されていると共に過去に利用され在宅に戻られた利用者・家族の在宅会議を設立してケアのフォローが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ヘルパー実習の受け入れや協議会やキャラバンメイト養成の講師を努めるなどホームの持つ機能の地域への還元と地域の人々に認知症についての理解や広報のための活動に積極的に取り組んでいます。また、地域の喫茶店の利用、地域の会館に出かけて体操や音楽療法に参加するなど日常生活を通じて地元の人々との交流、連携が行われています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の運営理念をもとに、職務姿勢及び日々の介助理念を明示し、職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、運営理念、職務姿勢、介助理念を達成するために具体的な個々の目標を掲げその達成度について話し合わせフォローアップされている。P-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みが整っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の喫茶店や理美容院の利用、地域の会館に出かけて体操や音楽療法に参加するなど日常生活を通じて地元の人々との交流、連携が行われている。		特筆すべき点として、ヘルパー実習の受け入れや協議会やキャラバンメイト養成の講師を努めるなどホームの持つ機能の地域への還元と地域の人々に認知症についての理解や広報のための活動に積極的に取り組んでいる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、評価の意義を理解し、定期的に評価を実施する中でそれらを活かして具体的な改善に取り組んでいる。また、自己評価及び外部評価の結果については家族会や運営推進会議で報告されていると共に個々の家族に郵送されて情報の公開にも取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、定期的開催されている。委員は、利用者、家族、民生委員、他施設の介護支援専門員、法人理事長及び管理者・職員で構成され、介護認定基準改定について具体的に取組んでいる。</p>		<p>特筆すべき点として、過去に利用され在宅に戻られた利用者・家族の在宅会議を設立してケアのフォローが行われている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市町村担当者との連携の重要性については十分に理解し、サービスの向上に日々取り組んでいる。また、グループホーム連絡協議会などで中心的役割を担い地域のケアサービスの質の向上に貢献している。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会や運営推進会議の開催で、意見や苦情など言い表す機会を設けてそこでの意見を運営に反映される取り組みが行われている。また、定期的に「ひまわり通信」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりなど家族に情報提供されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会での意見交換やホーム内での苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。また、共用空間に管理者・職員の写真と紹介記事が家族や来訪者に分かりやすく掲示されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「ひまわり通信」で職員の異動や離職について紹介記事を掲載していると共に家族会でも報告している。また、共用空間には管理者・職員の写真や紹介を掲示するなど家族・来訪者に情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	母体医療法人での介護・看護の研修実施や外部の研修参加を積極的に奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、申送りなどで職場内研修やOJTの実施がされている。また、年度事業計画で、法人内外の研修が計画的に実施されている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム連絡協議会やケア研究会で他施設の同業者と積極的な交流が行われ、さらに実践者研修、ヘルパー実習、インターシップの受け入れなど地域のケアサービスの質の向上に貢献しているグループホームです。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。また、過去に利用され在宅に戻られた利用者・家族の在宅会議を設立してケアのフォローが行われている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、地域の会館や音楽療法、体操など日常的な外出や調理や食事の準備など一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。また、利用者が戸外に多く出かけられるように玄関の出入りを自由にして見守っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握にセンター方式の利用で把握に努めている。また、「できること、できないことシート」を活用して本人本位に検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、センター方式を活用して利用者、家族の希望や医師からの助言・情報、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買い物、音楽療法への参加や理美容院への訪問など柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日常の健康管理や医療活用については、母体医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても医師や歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに協力医療機関と連携して看取りを実践している。また、その取り組みが職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけや記録等の個人情報の扱いは、配慮されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、散歩や日光浴、買い物やホーム行事参加、食事の準備や掃除の手伝い、趣味への支援を本人の希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に準備や配膳、後片付けなどしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら雑巾縫いや畑での野菜の収穫、寿司などの外食や買い物など楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	管理者及び職員は、でき得る限り利用者が戸外に多く出かけられるように玄関の出入りを自由にして見守り、地域の会館や音楽療法、体操など日常的な外出に取り組まれている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関は、自由に入りができるように開放されている。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	町内会や近隣住民が参加した火災避難訓練を定期的実施して、地域の人々の協力が得られるよう取り組まれている。また、防火管理者が配置され、ホットライン・消火設備についても点検が実施されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	水分摂取量や具体的な食事摂取量が主食・副食毎に食事摂取表に記録され把握されている。また、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、ホーム内は、利用者が気になる視線、圧迫感などを遮る工夫がされていると共に手作りのウッドデッキが設置され日光浴や一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され、季節感や気分転換ができるように配慮されている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人が居心地よく過ごせるように居室には、畳の空間が用意され家族の宿泊にも利用されている。また、本人や家族と相談しながら、仏壇や使い慣れた家具、テレビ、冷蔵庫などが持ち込まれ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。